

計測会メールマガジン第27号の補足・訂正 (2018年3月24日)

計測会メールマガジン第27号(2018年3月23日発行)の内容に不備がありましたので、補足・訂正させていただきます。お詫び申し上げます。

不備の内容：修士論文リスト

修士論文リストに、種村先生が主査となっている3件に付きまして、記載が漏れておりました。申し訳ありません。

発表審査会の情報と併せて下記に示します。

日時：2月13日(火) 14:00-15:00

会場：11号館3階エレベータ前の i-cafe

発表時間：20分(質疑応答5分含む)

主査：種村眞幸、副査：Kalita Golap

プログラム(時間 (学籍番号) 氏名 / 題目)

14:00-14:20 (28412016) 小川 幸大 / 低次元ナノカーボンの作製と評価

14:20-14:40 (28412020) 小山田 賢斗 / 結晶性カーボンナノファイバー探針の開発

14:40-15:00 (28412046) 竹内 健太 / プラズマ手法による酸化亜鉛薄膜の合成と評価

事務局からの状況説明等

昨年までは、計測系プログラム関係の研究室の大学院所属は3専攻4分野にまたがっていました。本年は1専攻1分野となったため、その発表会のプログラムを掲載しただけとしてしまいました。

修士論文の審査は、主査・副査制となっていて、主査・副査の間で審査を行い、その結果を専攻で承認し、さらに大学(工学研究科)で承認する形となっております。したがって、今回のように大学院の「分野」で行う発表審査会に主査の先生が公務等で都合が付かない場合、担当分だけ他の日時に発表・審査会を行うこととなります。

以上です。

発行人 米谷昭彦(F60) 文責：米谷

